

# 『日本労働研究雑誌』 総目次

(No. 558/2007年1月～  
No. 569/2007年12月号)

## (提言)

- 社会変化と人間を尊重する仕事 ……堀内 光子…558  
後代にまで活用される労働調査を ……八幡 成美…559  
貧困の時代相 ……荒木 誠之…563  
研究者=変化を導く者⇒は責任と喜びを  
……………藤田 至孝…564  
中庸の平等と「商業の精神」 ……稲上 毅…565  
労働者概念と労働者保護の多元化を  
……………佐藤 博樹…566  
組織の入り口管理とリテンション ……小笹 芳央…567  
紛争解決の手續 ……遠藤 賢治…568  
「垂直の世代」か「水平の世代」か  
……………猪木 武徳…569

## (論文)

- 〈仕事の中の幸福〉  
労働と幸福度 ……佐野 晋平・大竹 文雄…558  
高齢者の就労に対する意欲分析 ……福島さやか…558  
職場における快適な労働環境確保について  
……………小畑 史子…558  
職場のメンタルヘルスに関する最近の動向とストレス  
対処に注目した職場ストレス対策の実際  
……………大塚 泰正・鈴木 綾子・高田 未里…558  
バーンアウト（燃え尽き症候群）——ヒューマンサー  
ビス職のストレス ……久保 真人…558  
〈賃金制度の見直しと賃金政策〉  
合併・買収と従業員の賃金  
……………久保 克行・齋藤 卓爾…560  
鉄鋼大手企業における賃金プロファイルの接近——  
1960, 70年代  
……………梅崎 修・青木 宏之・杉山 裕…560  
企業の賃金決定行動の変化とその背景  
……………茨木 秀行・井上 裕介  
有馬 基之・中野貴比呂…560  
成果主義と人事改革 ……中村 圭介…560  
従業員の報酬制度に関する認識 ……松繁 寿和…560  
日本型賃金制度の補完性タイプの変化——日英企業の

- ケース分析から探る ……須田 敏子…560  
投資銀行における賃金制度の資本国籍間比較——ロン  
ドンと東京 ……八代 充史…560  
「有償ボランティア」は労働者か？——活動実態と意  
識の分析から ……小野 晶子…560  
年功賃金論における能率と生活の思想的系譜——戦時  
期統制における賃金の議論を手がかりとして  
……………金子 良事…560  
日中における男女間賃金格差の差異に関する要因分解  
……………馬 欣欣…560  
〈歴史は二度繰り返す？〉  
I 人口減少と少子化社会  
近世中期の人口減少と少子化対策 ……高橋美由紀…562  
現代と近世中期の人口減少・少子化対策  
……………高橋 重郷…562  
II 日本企業の国際進出  
日本企業の国際経営に関する歴史的考察——兩大戦間  
期、中国における内外綿会社 ……桑原 哲也…562  
見事な知的貢献 ……小池 和男…562  
III 所得格差  
所得分布の戦前と戦後を振り返る ……南 亮進…562  
似て非なる戦前・戦後の所得格差拡大  
……………大竹 文雄…562  
IV 「資産家」  
戦前期「資産家」の諸活動とその背景  
……………谷本 雅之…562  
戦前のお金持ちの「公」意識は社会的に最適だったの  
か ……森 剛志…562  
V 身分格差の撤廃  
労働者の「身分」について——工職身分格差撤廃と均  
等処遇 ……久本 憲夫…562  
働き方の格差と処遇の格差 ……川口 章…562  
VI 賃金体系  
賃金体系の二層構造 ……森 建資…562  
賃金管理の課題——唯一望ましい賃金体系は存在する  
のか ……佐藤 博樹…562  
VII CIOの形成

CIOの形成——組織原理の対立	……………長沼 秀世…562	点から「インディペンデント・コントラクター」を 中心に ……………山田 久…566
CTWの結成は「CIOの形成」の再版なのか	……………五十嵐 仁…562	派遣労働者の人事管理と労働意欲 ……島貫 智行…566
Ⅷ 外国人労働者		労働者性と不完備性——労働者が保護される必要性に ついて ……………江口 匡太…566
日本帝国における移住朝鮮人労働者問題——論議と政 策 ……………外村 大…562		労働保護法の「労働者」概念をめぐる解釈論と立法論 ——労働法学に突きつけられている重い課題 ……………池添 弘邦…566
外国人労働者受け入れ問題の今昔 ……中村 二郎…562		「労働者性」と多様な働き方、そして労働政策 ……………浅尾 裕…566
Ⅸ 労働法の制定		〈採用の変化〉
工場法史が今に問うもの ……………渡辺 章…562		企業の人材採用の変化——景気回復後の採用行動 ……………永野 仁…567
工場法史の現代的意義 ……………江口 匡太…562		ハローワークの窓口紹介業務とマッチングの効率性 ……………佐々木 勝…567
いま歴史を生きる——総括コメントの試み ……………尾高煌之助…562		採用時点におけるミスマッチを軽減する採用のあり方 ——RJP (Realistic Job Preview) を手がかりにし て ……………堀田 聡子…567
〈貧困と労働〉		〈時代を背負う労働者〉
日本の貧困と労働に関する実証分析		溶けない氷河——世代効果の展望 ……………太田 聡一・玄田 有史・近藤 絢子…569
……………橘木 俊詔・浦川 邦夫…563		丙午世代のその後——統計から分かること ……………赤林 英夫…569
日本の貧困——増える働く貧困層 ……関根 由紀…563		誕生日と学業成績・最終学歴 ……………川口 大司・森 啓明…569
最低賃金・生活保護額の地域差に関する考察		「団塊の世代」の職業キャリアのタイプおよびその就 業形態の選択に与える影響 ……………馬 欣欣…569
……………安部由起子・玉田 桂子…563		
ワーキングプア・ボーダーライン層と生活保護制度改 革の動向 ……………駒村 康平…563		(紹介)
ホームレスの労働と健康、自立支援の課題		〈仕事の中の幸福〉
……………鈴木 亘…563		全日空労働組合における従業員の健康と社員満足に関 する取り組み ……………黒木 隆志…558
貧困の世代間連鎖の実証研究——所得移動の観点から		〈近年の福利厚生の変化〉
……………佐藤 嘉倫・吉田 崇…563		従業員の健康管理の現状と課題——最近の傾向と事例 の分析をふまえて ……………村杉 靖男…564
〈近年の福利厚生の変化〉		企業スポーツと人事労務管理 ……………荻野 勝彦…564
福利厚生と労働法上の諸問題 ……………柳屋 孝安…564		退職給付(企業年金)の現状と課題 ……………柏崎 重人・深澤 寛晴…564
勤務時間短縮等の措置にみる両立支援の課題——企業 の自主的取組みによる育児支援策の拡大に向けて		〈労働と倫理〉
……………池田 心豪…564		企業の社会的責任と組織風土 ……………小河 光生…565
〈労働と倫理〉		行政法における公務員倫理法の位置づけ ……………下井 康史…565
組織風土の属人思考と職業的使命感		外資系企業の行動規範および流動的労働市場における
……………岡本 浩一…565		
専門職集団と組織——科学者・技術者の組織への包摂 と役割コンフリクトを中心として		
……………蔡 芒錫…565		
CSR(企業の社会的責任)と労働組合		
……………後藤 嘉代…565		
〈雇用と自営のあいだ〉		
個人業務請負の実態と将来的可能性——日米比較の視		

人事戦略 ……………野尻 賢司…565

〈雇用と自営のあいだ〉

「自営的」就労と建設労働の諸課題と全建総連の取り組み ……………山下 正人…566

〈採用の変化〉

採用メディアの変化——多様化する中途採用メディア・経路 ……………豊田 義博…567

採用とアウトソーシング ……………小宮 健実…567

大学新卒者採用における面接評価の構造 ……………岩脇 千裕…567

(論文〈投稿〉)

2度目の開業者が成功する条件——失敗経験が与えるパフォーマンスへの影響について ……………川上 淳之…559

鉄鋼生産職場における一般作業者の管理能力——管理的業務の遂行状況と管理能力の特徴 ……………田中 真樹…559

大手企業における昇進・昇格と異動の実証分析 ……………上原 克仁…561

職務発明をめぐる利益調整における法の役割——アメリカ法の考察とプロセス審査への示唆 ……………坂井 岳夫…561

職員・工員身分差の撤廃に至る交渉過程——「経営協議会」史料(1945～1947年)の分析 ……………南雲 智映・梅崎 修…562

日本企業の能力開発——70年代前半～2000年代前半の経験から ……………原 ひろみ…563

若年無業の経済学的再検討 ……………玄田 有史…567

能力向上期間の決定要因 ……………米田 耕士…568

労働組合と離職率 ……………外館 光則…568

パートタイマーの基幹労働力化が賃金満足度に与える影響——組織内公正性の考え方をてがかりに ……………島貫 智行…568

正規-パート賃金格差と地域別最低賃金の役割——1990年～2001年 ……………安部由起子・田中 藍子…568

(研究ノート〈投稿〉)

戦略的人的資源管理論の再検討 ……………木村 琢磨…559

株主重視の経営を支持しているのは誰か ……………高橋 康二…565

派遣労働者のキャリアと基幹化 ……………清水 直美…568

(エッセイ)

日本労働研究雑誌

〈ここにもあった労働問題〉

●インフラストラクチャーと労働

高品質な電気と停電の少なさ ……………坂田 幸治…561

鉄道の労働者が支える安全で正確な運行 ……………萩山 市朗…561

ATM24時間稼働に見る「労働」 ……………久保田章市…561

どこにでもある自動販売機 ……………市川 英次…561

●規制と労働

医師や看護師の人手不足が発生していること ……………遠藤 久夫…561

タクシー規制緩和と労働市場 ……………玄田 有史…561

トラック運輸産業を取り巻く環境と労働実態 ……………桜木 隆…561

役所に勤めたいの? ……………中村 圭介…561

●人材マネジメントの中の労働

日本マクドナルドと人材マネジメント——顧客満足と従業員満足を創出する育成システム ……………林 有珍・江夏幾多郎

西村 孝史・守島 基博…561

「ヤマトは我なり」——コア競争力の源泉としてのセールスドライバーのマネジメント ……………江夏幾多郎・林 有珍

西村 孝史・守島 基博…561

セブン-イレブンのパート, アルバイトはなぜ高収益に貢献できるのか? ……………勝見 明…561

●教育と労働

高校が就職斡旋をすること——高校がハローワーク? ……………石田 浩…561

大学は本人のためだけでなく, 社会のために役立っている ……………矢野 眞和…561

「リクナビ」の登場が新卒市場にもたらした光と影 ……………豊田 義博…561

キャリアカウンセリングが近年盛んになっていること ……………山本 公子…561

●働く場で起きていること

日本の経営者の所得が低いこと ……………大竹 文雄…561

単身赴任を伴う転勤を従業員が受け入れていること ……………佐藤 厚…561

日本の長時間通勤 ……………山鹿 久木…561

ストライキは絶滅したか? ……………藤村 博之…561

日本の勲章 ……………久保 克行…561

ボランティア活動の今日の問題 ……………小野 晶子…561

〈時代を背負う労働者〉

プロスポーツ界における「黄金世代」と「谷間の世代」  
——サッカーを例に ……鍋田 郁郎…569

(学界展望)

学界展望：労働調査研究の現在——2004～06年の業績  
を通じて

……梅崎 修・戎野 淑子・小倉 一哉…559

(ディアローグ)

労働判例この1年の争点

……盛 誠吾・森戸 英幸…568

(座談会)

平成18年版労働経済白書をめぐって——就業形態の多  
様化と勤労者生活

……石水 喜夫・太田 聡一・川口 大司…559

消費者であることと財・サービスの提供者であること  
の二面性を考える ……島田 尚信・元石 一雄

山崎 雅男・藤村 博之…561

『採用』を考える ……井上 直樹・大内 伸哉

神林 龍・守島 基博…567

平成19年版労働経済白書をめぐって——ワークライフ  
バランスと雇用システム

……石水 喜夫・武石恵美子

立道 信吾・永瀬 伸子…569

(書評)

中村圭介『成果主義の真実』 ……猪木 武徳…558

バーバラ・エーレンライク著／曾田和子訳『ニッケル・  
アンド・ダイヤモンド——アメリカ下流社会の現実』、

ポリリー・トインビー著／椋田直子訳『ハードワーク

——低賃金で働くということ』 ……森岡 孝二…559

橋本俊詔／浦川邦夫著『日本の貧困研究』

……駒村 康平…559

黒田祥子／山本勲著『デフレ下の賃金変動——名目賃  
金の下方硬直性と金融政策』 ……安井 健悟…559

佐藤博樹／堀有喜衣／堀田聰子著『人材育成としての  
インターンシップ——キャリア教育と社員教育のため

に』 ……永野 仁…561

島田章著『外国人労働者流入と経済厚生』

……後藤 純一…561

乾彰夫編著『不安定を生きる若者たち——日英比較フ  
リーター・ニート・失業』 ……本田 由紀…561

平野光俊著『日本型人事管理——進化型の発生プロセ  
スと機能性』 ……松山 一紀…561

佐藤博樹／大木栄一／堀田聰子著『ヘルパーの能力開  
発と雇用管理——職場定着と能力発揮に向けて』

……森 ます美…562

岩田憲治著『人事労務管理制度の形成過程——高度成  
長と労使協議』 ……田口 和雄…562

堀有喜衣編『フリーターに滞留する若者たち』

……白井 利明…563

乙部由子著『中高年女性のライフサイクルとパートタ  
イム』 ……禿 あや美…563

柳澤武著『雇用における年齢差別の法理』

……奥山 明良…564

大内伸哉著『労働者代表法制に関する研究』

……浜村 彰…565

村串仁三郎著『大正昭和期の鉱夫同職組合「友子」制  
度——続・日本の伝統的労資関係』

……梅崎 修…565

白木三秀著『国際人的資源管理の比較分析——「多国  
籍内部労働市場」の視点から』 ……竹内 規彦…566

辻勝次編著『キャリアの社会学——職業能力と職業経  
歴からのアプローチ』 ……鈴木 竜太…566

藤本茂著『米国雇用平等法の理念と法理』

……浜田富士郎…567

河西宏祐著『電産の興亡（一九四六年～一九五六年）  
——電産型賃金と産業別組合』

……鈴木不二一…567

吉川徹著『学歴と格差・不平等——成熟する日本型学  
歴社会』 ……原 純輔…568

佐藤厚編著『業績管理の変容と人事管理——電機メー  
カーにみる成果主義・間接雇用化』

……久本 憲夫…568

戎野淑子著『労使関係の変容と人材育成』

……藤村 博之…568

吉田美喜夫著『タイ労働法研究序説』

……香川 孝三…569

西成田豊著『近代日本労働史——労働力編成の論理と  
と実証』 ……山下 充…569

(読書ノート)

萩原久美子著『迷走する両立支援——いま、子どもを  
もって働くということ』 ……柿 眞木…559

岡本浩一／堀洋元／鎌田晶子／下村英雄著『職業的使

命感のマネジメント——ノブレス・オブリジェの社会技術』……………大木 栄一…559	……………石田 信平…563
中野麻美著『労働ダンピング——雇用の多様化の果てに』……………水島 郁子…561	U. E. ハールベリイ/W. B. シャウフェリ「ワーク・エンゲージメントはジョブ・インボルブメントや組織コミットメントと弁別可能なのか？——隣接する諸概念の整理」……………鎌倉 哲史…564
水町勇一郎編『個人か集団か？変わる労働と法』……………西谷 敏…562	F. クーニャ/J. J. ヘックマン「子供の能力形成に関する経済分析」……………戸田 淳仁…565
ロナルド・ドーア著『誰のための会社にするか』……………佐山 展生…563	J. パーセル/S. ハチンソン「ライン管理職により規定される人材マネジメントの効果」……………江夏幾多郎…566
デイヴィッド・K. シプラー著/森岡孝二・川人博・肥田美佐子訳『ワーキング・プア——アメリカの下層社会』……………小倉 一哉…564	J. H. ギッテル/A. フォン・ノルデンフリユクト/T. A. コーハン「相互利益かゼロサムか？——アメリカ航空業における労使関係と企業パフォーマンス」……………鈴木 誠…567
水谷英夫著『職場のいじめ——「パワハラ」と法』……………柏崎 洋美…564	J. バルテレミー/G. セット「フランス労働法の規制緩和にともなう協約規範の役割の増大」……………桑村裕美子…568
大内伸哉著『雇用社会の25の疑問——労働法再入門』……………川口 大司…566	H. M. レビン/Z. シュ, 蔣世民「現代中国における高等教育卒業生就職難問題——高等教育と労働市場との関わりからみる」……………寺崎 里水…569
有村貞則著『ダイバーシティ・マネジメントの研究——在米日系企業と在日米国企業の実態調査を通して』……………馬越恵美子…566	(フィールド・アイ)
稲上毅・連合総合生活開発研究所編『労働 CSR——労使コミュニケーションの現状と課題』……………寺崎 文勝…567	ドイツの子育て事情……………高島 淳子…558
	ドイツ社会の「変容」……………高島 淳子…559
	ブラジルの労働法と在日ブラジル人について……………二宮 正人…561
	ブラジルにおける労働関係の法律……………二宮 正人…562
	ブラジルにおける労働訴訟……………二宮 正人…563
	シンガポールの外国人雇用対策……………竹内ひとみ…564
	シンガポールの少子化対策……………竹内ひとみ…565
	シンガポールの高齢者雇用対策……………竹内ひとみ…566
	最低賃金の引き上げ……………奥野 寿…567
	移民労働者と移民法・労働法……………奥野 寿…568
	政権交代とNLRB命令の変転……………奥野 寿…569
	(発表)
	第30回(平成19年度)労働関係図書優秀賞……………568
	第8回(平成19年度)労働関係論文優秀賞……………568
(論文 Today)	
N. キム「従業員のキャリア開発に影響を与える組織施策——キャリア志向性との関係から」……………藤波 美帆…558	
J. ディナルド/D. S. リー「近年の組合化は企業に経済的影響を及ぼしているか？——Regression Discontinuity Design による推定」……………横山 泉…559	
M. トンプソン/P. ヘロン「R&D部門のイノベーションを高めるための条件とは？——仕組みか意識か」……………加藤 豊子…561	
H. ピエッコラほか「成果主義は機能しているのか——その効果と、これからの研究への示唆」……………宮本 大…562	
C. エストルンド「制定法上の権利と契約の関係——雇用関係法におけるハイブリッド形態」……………	